２０２２年度事業計画

特定非営利活動法人くろとり山荘

日本財政は新型コロナウイルスとウクライナ紛争が原因で巨額な借金を抱え、一段とリスクが増している。現在、国と地方を合わせた借金の残高は1200兆円にも上り、先進国では最悪の水準である。今後も少子高齢社会の加速で借金が増大する。このため、福祉・社会保障にも大きな影響を与え、介護報酬などにも抑制が加えられていくことになる。小規模デイはコロナの影響もあって利用者が減るところが多く生き残りが厳しくなってきており大規模施設に吸収されたりしてきている。一方、３Ｋと言われる介護現場では職員の人材確保も難しくなってきている。こうした収入面、人材確保両面から小規模施設は経営が厳しくなり、倒産件数も年々増えてきている。

当デイサービスも例外でなく利用者数の減少による経営悪化や職員募集しても応募がない状態が続いている。今、くろとり山荘の設立意義、理念・目標に再度立ち返りデイサービスくろとり山荘の今後の在り方を再度確認することが必須となっている。くろとり山荘のデイを利用していただくことでご利用者、ご家族がどのように感じられ、利用してよかったと思っていただけるようなデイサービス作りが必要となる。デイに来て癒しと感じる共に、生きがい、生きる喜びを感じ、同時に働く私たちも共に働きがい、喜びを分かち合っていけるようなデイサービスをめざしていきたい。そのため、日頃からご利用者、ご家族に向き合い、真心を持って接するように心がけていく。また、ご利用者、ご家族へ再度アンケートを実施し、具体的なご要望などを把握して少しでも求められるデイを追求していきたい。

新型コロナウイルス感染が減少傾向になっているものの、今年度も感染防止対策が最重要課題となる。あるデイサービスではコロナ感染者が発生して休業を余儀なくされたため、ご利用者の心身機能が低下したという報告もある。こうしたコロナ難民を作らないためにも、これまで通りの感染対策を徹底させ、利用者、職員のワクチン接種も推進していく。感染者が出た場合、業務継続計画（ＢＣＰ）の指針をもとに早急に策を講じていく。また、感染対策や災害対策については町会と協力して行っていくことも推奨されており、地域の方と共に行っていけるように検討していく。寄贈していただき余裕のあるマスクなどはボランティアやご利用者・ご家族の方にも配布していく。

デイサービスは昨年度も利用者数の減少に伴い赤字経営となったが、今年度もその状況は続いており厳しい経営が予想される。こうした中、新たな利用者獲得、利用者増をめざすとともにスタッフの協力も得ながら日常の人員配置も利用者数に見合った合理的な人員配置数にしていく。その為、利用定員数はこの6月から現在の18名から15名に変更し介護人員必要数を減らしていく。これに伴い、運営規定、重要事項説明書の変更を行い、ご利用者に変更の説明をして了解をいただいていく。また、この運営規定、重要事項説明書に介護保険上義務付けられている感染防止、虐待防止、業務継続（ＢＣＰ）を盛り込んだ改正も行っていく。物品購入の見直しなど節約にも努め、経営分析も行いながら経営健全化に向けて経営努力を行っていく。

一方、これまで同様「どのような利用者も受け入れていく」基本姿勢を貫き、個々の利用者、家族に寄り添ったデイサービスを目指す努力も重ねていく。スタッフに対しても労働意欲が向上していけるように介護職員処遇改善加算、補助金なども活用しながら基本給、一時金などの給与アップや人員確保を追求し、年次有給休暇取得、労働環境の整備にも努めていく。

これからも「地域密着型通所介護運営推進会議」なども活用しながら利用者・家族、地域住民の方々の意見を伺い、よりよいデイサービス運営を進めていく。新型コロナ感染者が減少傾向にあり、感染対策を講じながら多様なボランティアにも協力をいただきご利用者にも楽しいとも思われ、明るく活気あり来てよかったと言われるようなくろとり山荘をめざしていきたい。また、町会の「ふぁみりーカフェー」に町会の方の協力も得ながら利用者参加もめざし交流も深めていきたい。

新たなデイサービス、ＮＰＯ法人指導者や人材の育成に努めていく必要にも迫られている。そうしたことからも職員の研修等にも力をそそぎ多面的な人材育成に努めていく。研修については、介護保険により感染対策、災害対策、高齢者虐待、ハラスメントなど必須の研修項目と同時にデイサービスにとって必要な外部研修も加え全体のレベルアップ、共通認識を深めていく。また。新職員の相談や研修にも力を注いでいきたい。

事故防止対策は些細な事でも隠さないという姿勢を維持し、積極的にインシデント、アクシデント報告書を書き、大きな事故や同じ過ちを繰り返さないよう分析、改善を行っていく。また、苦情もご利用者、ご家族、また地域の住民の方々から些細な事でも気軽に言っていただけるようなデイサービスを目指し、利用者・家族、地域の皆様の期待に添えるようにしていく。

ＮＰＯ法人の目的である「どのような方でも安心して住み慣れた街で暮らすことができるように」していくため、多くの地域の方にご利用していただけるように努力していく。そのため、気軽にデイサービスを見学・体験していただいたり、介護、医療で悩んでおられる方の相談にも応じていく。また、デイサービススタッフの協力も得て、感染対策や災害対策だけでなく夏祭りなどの地域・町会の催しや清掃活動などにもできるだけ参加を心がけ、日常的に地域の方々との信頼関係を築いていくようにしていく。寄付していただいた竹林は伐採、整備だけでなく地域の方にタケノコ掘りを行ってもらったり、多くの花を植えて道行く方々にも癒しの場として活用していただく。町会、地域の方と一緒にバードウォッチングの企画も考えていきたい。

賛助会員が年々減少している中、ＮＰＯ法人くろとり山荘正会員に会員増の協力も訴えながら１００名以上の賛助会員が復活できるように努めていく。会報「山荘だより」は、これまで通り年４回の発行を行い、４００部配布を継続していく。新たなインスタグラムやホームページの動画掲載や、ブログの内容充実、更新も心掛け、みんなに関心いただけるようなものにしていき、デイサービス利用増にもつなげていきたい。